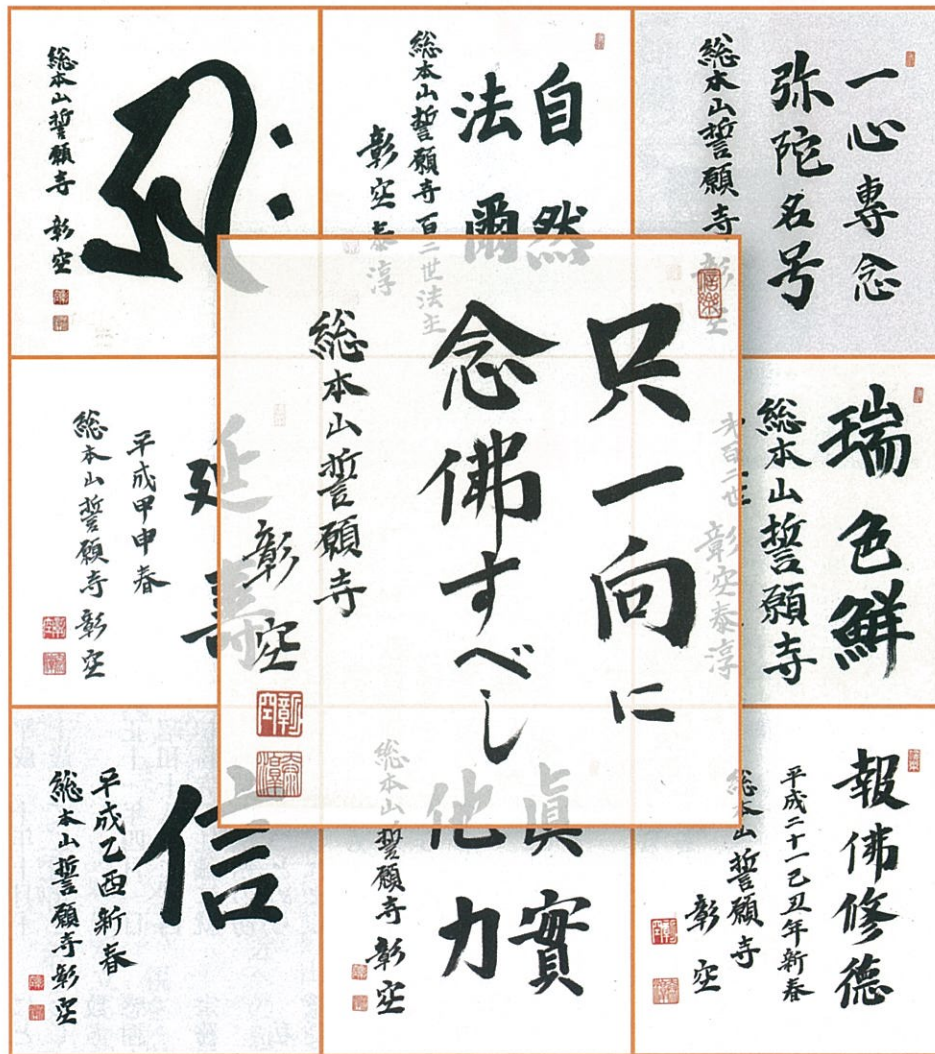


# 古くから

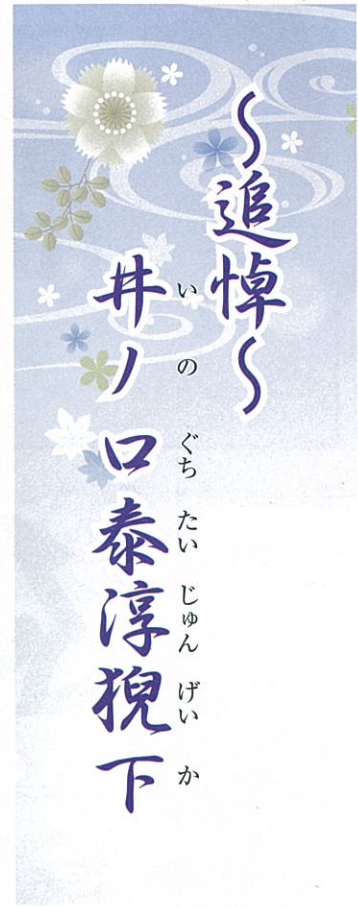
2019  
正月号 VOL.154  
浄土宗西山深草派宗務所  
総本山 誓願寺



◆ 総本山誓願寺第百二世 井ノ口泰淳法主 御染筆 ◆

## 目次

- ～追悼～井ノ口泰淳猊下
- インド **バタバタ** 夫婦道中記 ④⑧
- 賢問子行状記 ②④
- 総本山誓願寺だより
- 開宗八百五十年に向けて ②
- 何でも“お寺探偵団” Vol.52
- お釈迦さまの十大弟子 ⑭
- 紫雲山 龍淵寺



私たちの御前さまに感謝を込めて

私たちの御前さま、井ノ口泰淳  
 宛下は、浄土宗西山深草派管長、  
 総本山誓願寺第一〇二世法主をお  
 つとめになり、平成三十年十月十  
 七日、世寿九十七歳にてご遷化さ  
 れました。

御前さまは大正十一年四月一日  
 にご生誕され、昭和十八年にご自  
 坊である獨妙山超勝寺の住職に就  
 任されました。ご自坊の法務の傍  
 ら、龍谷大学にて教授をつとめら  
 れ、仏教学の探究を深められまし  
 た。また、宗派においても、宗学  
 の研究・教育機関である宗学院の  
 教授、また院長をつとめられ、宗  
 派内外で教育に携わってこられま  
 した。

総本山誓願寺の第一〇二世法主  
 に就任されたのは、平成十一年二  
 月のこと。それから四期、およそ  
 二十年にわたり、総本山誓願寺の  
 「御前さま」として私たちを導い  
 て下さいました。

その二十年の間、まず平成十五  
 年には、記主顕意道教上人の七〇  
 〇回大遠忌が、続いて平成二十三  
 年には元祖法然上人八〇〇回大遠  
 忌があり、どちらも五十年に一度  
 という、大変大きな法要をおつと  
 め下さいました。ちかい読者の方  
 の中にも、そのお姿をご覧になり  
 記憶にある方もおいでのことと思  
 います。

また、御前さまのもので得度を  
 受けた者は一九一名、法脈相承を  
 受けた者は一三三名にのぼります。  
 これだけ多くの僧侶を世に生み出  
 された御前さま故に、派内の僧侶  
 にとつて、「私たちの御前さま」  
 として記憶に刻まれている者も多  
 数あるうかと思えます。衷心より  
 感謝申し上げます。

宗務総長より御前さまを偲んで

私はおよそ五年にわたり、宗務  
 総長として御前さまにおつかえし  
 てまいりました。御前さまは、晩  
 年は足腰こそ御不自由ではござい  
 ましたが、今年の御忌でも大導師  
 をお勤めになり、また、十月初  
 めにご挨拶に伺ったときは、ご壮  
 健であられましたので、誠に残念  
 ではあります。常日頃から、  
 仰つていたお言葉、「お念仏は感  
 謝のこころ、生きとし生けるもの  
 をはじめ、すべてのものに対する  
 感謝の気持ちである」との教えを  
 胸に刻み、これからも御前さまの  
 御志を伝えてゆく所存でございま  
 す。

檀信徒の皆さまから頂いたご厚  
 情に深く感謝いたしますとともに、  
 これからも宗派・総本山誓願寺の  
 ためにお力添えを賜りますよう、  
 お願いいたします。

浄土宗西山深草派宗務総長

加藤 良邦

# 賢問子行状記

24

宝蔵寺住職 小島英裕

## 第十六話 「尾上女、現益を蒙る」(前編)

文安年間の頃、足利義政將軍の家臣に、大場帯刀という侍がいました。左近という一人息子がおり、父と共に將軍に仕え、文武両道にたけていました。

しかし左近は若者として思慮がなく、色恋ごとに心を惑わしました。御台所に尾上という召使いの女がいました。前世からの因縁なのでしようか。お互いに心を通わし、数々の手紙を交わし、妻にしたい、夫にしたいと堅く言い交わすようになりました。

二人の噂はすぐに広まり、伝え聞いた父の帯刀は大いに怒りました。

「お前は仏道を妨げる魔王の心になったのか。聞いたところ、御台所の召使いの女と

密かに会っていると聞く。侍として一番遠慮すべきことは色恋の道。將軍さまの恩を忘れ、召使いの女と情を通じるとは何事だ！祖父の名は勿論、先祖を辱める。反省して奉公に勤めよ！祖父の言葉を借りるなら、七回生まれ変わるまで勘当者だ！」

帯刀は怒りの中に涙を浮かべました。左近ははつとしてうつむき、

「これは全て噂でございます！全く身に覚えがありません！信じて下さい！」

と答えたので、父は安心しました。しかし、自分の噂話が耳に入るので、父に嘘をつきました。

「可能な限り忠義と孝行の道を忘れるな」

と父は言いました。左近は、「老いたる父に苦勞を掛けたくないの、女と距離を置こう。しかし、女の恨みは恐ろしい。父に従えば女から恨まれ、女に従えば父に対し

て親不孝である。どうすることもできない。悩みから抜け出すために出家しよう」と思い、高野山に登り出家しました。女へは、「高野山に登り出家する。君とは二度と会えない……」

と別れの手紙を送りました。父には、

「嘘をついていました。本当に申し訳ございません。私は高野山に登り出家いたしません……」

と手紙をおいて出て行つたのです。

尾上は何の音沙汰もなく心配していたのですが、十五日後に手紙が届きました。その手紙を読んで左近の出家を知りました。

「私は何が悪かったの。なぜあの人は出家したの。こんな辛いことはないわ。あの人を探しに高野山へ行き、訳を聞いわ……」

と、左近への思いを胸に、高野山へ向かいました。

父は、親を捨て出て行つた子どもの考え方に腹が立ちました。勘当とはいええ、実は可愛さ余って試練を与えたつもりでした。帯刀は、方々へ人を使わし左近の行方を探しました。

(つづく)

# 開宗八百五十年に向けて ②

布教師会 小島英裕

## 「誓願寺と法然上人」

誓願寺の第二十一世蔵俊僧都と法然上人は、保元元年（一一五六）、法然上人が二十四歳の時、奈良で対面された『勅修御伝』にあります。平安後期に差し掛かる頃です。法然上人は、当時法相宗の学僧であった蔵俊僧都に法相宗の教義の中で不審に思ったことを問いました。しかし蔵俊僧都は返答に困ります。そこで法然上人は、独学で学んだ解釈を述べました。すると蔵俊僧都は、

「あなたはただ者ではない。とても勝れた解釈だ。あなたの智慧が深遠であることはもはや言葉では言い表せない！」とお話になり、その後法然上人を誓願寺の第二十二世にお迎えになり、誓願寺は浄土宗になりました。

さて誓願寺が歴史上、初めて古文書に

登場するのは承元三年（一二〇九）、鎌倉初期のことです。『百練抄』四月九日

「今日炎上あり。行願寺、誓願寺、焼亡」と、火災で焼失した旨が記されています。歴史の面からいえば、天智天皇六年（六六七）の創建から承元三年の、五十二年間の誓願寺の詳細は不明なのです。事実、現在保管されている誓願寺什物で平安時代のもものは、重要文化財「毘沙門天立像」木造のただ一点のみです。

ただ承元三年に火災にあったということは、それ以前に、つまり平安末期か鎌倉初期に誓願寺は奈良から京都に移転し、誓願寺は建立されていた、という事実が判明します。その時代の法然上人と誓願寺にまつわるエピソードは伝えられていません。ここで法然上人と西山上人の生涯を振り返ります。平安末期、承安五年（一一七五）、四十三歳の法然上人は浄土宗を開宗する。建久元年（一一九〇）四月、西山上人は法然上人の室に入る。

建久九年（一一九八）三月、法然上人は『選択本願念仏集』を撰述。鎌倉初期の建永二年（一二〇七）二月、法然上人の弟子であった住蓮と安楽が処刑される。この「建永の法難」により法然上人は四国へ流罪になりました。誓願寺が京都の新天地に建立されたと思われる平安末期から鎌倉初期は、法然上人や西山上人にとっては激動の時代であったのです。

『誓願寺縁起』の成立は、創建から時が流れ、遅くとも鎌倉時代に始まりました。その縁起の内容は、法然門下の関係者が深く関わっていると見える程、念仏往生に関わりが深いお話ばかりです。室町後期、誓願寺の勧進沙門は、天文年間の再建に際し、和泉式部と誓願寺との関わりを強調し、女性の救済を強調する勧進帳を作成し、人々に誓願寺再建への協力を求めました。

『誓願寺縁起』の登場人物は主に罪人や、貧しい人、そして女性といった社会的に立場の弱い「弱者」です。法然上人の教えは、生きとし生けるものの極楽往生、衆生救済です。五年後に迫った二〇二四年は、法然上人浄土宗開宗八五〇年でありますが、誓願寺も京都の新天地で、法然上人と共に歩みを始めたのであります。



論議第一の摩訶迦旋延

お釈迦さまの  
ご生涯  
外伝

# お釈迦さまの十大弟子 14

絵・豆田織奈 文・釈尊法話会

## 論議第一の摩訶迦旋延



摩訶迦旋延尊者は西インドの婆羅門の二男として生まれました。若い時から、兄と共に学問に励み二人とも立派な学者となりました。しかし、兄は非常に頭の良い弟を妬み、嫌がらせをするようになったのです。

父は、二人の様子を見て、家は兄に継がせ、弟である迦旋延を出家させました。出家先は南インドのアシタ仙の元です。アシタ仙は迦旋延の親戚にあたり、昔お釈迦さまがお生まれになった時に、生まれたばかりの悉達太子を占った方です。その時、アシタ仙は、「太子さまが成長された時、王位を継が

れば転輪聖王となられるであろう。もし出家なされば仏陀となられるであろう」と予言をしました。後に悉達太子は出家し、仏陀とられました。

アシタ仙の弟子となった迦旋延は、めきめきと頭角を現し、大勢いる弟子の中で後継者と言われるようになりました。アシタ仙は長い間、お釈迦さまが覺りを開かれ、仏陀とされるのを待っていました。しかし寿命が尽き、仏陀に出会うことが出来ませんでした。亡くなる間際、迦旋延にこう言いました。

「迦旋延よ。私は仏陀が世の中に出られるのを待ち焦がれていた。しかし、願いは叶わない。もし仏陀が世の中に出られた場合、お前はその方の弟子となるのだ」

そして、アシタ仙は亡くなりました。

(つづく)



東龍寺 住職 岩瀬 賢良

# インドタタ 夫婦道中記 48

## 突然の出会い

長い道のりを散策しジンワリと汗をかいて帰ってきたら、スリランカ寺の門前には、都合良く土産物屋と一緒に果物屋の屋台も出ていたので、チャイ屋でチャイを飲んだ後、トマトとリンゴを買って部屋に戻り僕たちはそれらを食べた。

日没の勤行があるので参加するように言われ、本堂に入るとスリランカから来た、男性が少なく中高年の女性がほとんどの五〇人ほどの団体に僕は圧倒された。他は多分、大阪から来た青年と僕たち夫婦の日本人三人だけだっただろう。スリランカの言語とアルファベットの二種類の文字で書かれた経本を渡され、当然のこと僕はアルファベットの文字を読んではみたが慣れないもので途切れ途切れになってしまった。スリランカは仏教徒が七割を占める国で、皆

は大僧正の声に合わせ、さすがにしつかりと大きな声で唱和していた。この後、僕たちは思いもよらぬ感激の場面に遭遇することとなったのである。三〇分ほどの読経がすむと、大僧正からのお話があった。スリランカの言語で話されるので、僕たちには話の内容はわからなかったが、その穏やかな口調に堂内の全ての人が静かに聞き入っていた。その後、お付きのお坊さんが僕たちに、これから仏舍利（釈尊の遺骨）を拜ませてくれると教えてくれた。突然のその話に僕は驚いた。まさかこのスリランカ寺にそんな貴重な仏舍利が安置されているとは思ってもよらなかったのである。

参拝した人たちは一列に並び、一人々々順番に大僧正の前に立ち、合掌して頭を下げると、大僧正が仏舍利の入った容器を頭上に掲げてくれた。僕たち日本人は遠慮して最後尾に並び、その至福の光景を見て感動の思い

に浸りながら順番を待ったのだ。二五〇〇年もの時を隔てた今もなお釈迦牟尼仏陀に対面できる喜びはひとしおだった。因みに日本では唯一、宗派を超えて運営する名古屋の覚王山日泰寺に、タイの国王から分骨された仏舍利が納められてある。お釈迦さまに会いに行きたい人は日泰寺が最も身近という訳である。

最後に僕が大僧正から仏舍利を掲げられると、暫くの間みんなにしつかりと舍利を拜ませてもらえた。それは米粒よりも小さく、老眼の僕には眼鏡が必要なくらいだった。



お釈迦さまのお舍利さん  
(祇園精舎正面のスリランカ寺にて)



# 総本山誓願寺だより

## 節分会

平成三十一年二月三日(日)

### 大般若転読会

無病息災・心願成就・芸道上達等、皆さまのお願い事を仏さまに祈願致します。

●午前十時～十二時  
●午後三時～四時



### 日本舞踊・長唄奉納

午後一時半

演目

- 一、神田祭
- 二、桜版鏡獅子

出演

日本舞踊・長唄桜流  
桜富寿佐  
桜流門弟  
誓願寺僧侶

### 豆まき

午後二時

おつきか ほうよう

### 扇塚法要

※古くなった扇の供養を致します。



## おもな行事予定

一月

●一日(火)

修正会

●十五日(火)

六阿弥陀功德日

●二十四日(木)

法然上人追慕念仏行脚

二月

●三日(日)

節分会

●八日(金)

六阿弥陀功德日

●十五日(金)

涅槃会

三月

●十四日(木)

善導忌

六阿弥陀功德日

●十八日(月)～二十四日(日)

春彼岸

●二十五日(月)～四月四日(木)

法脈相承

## クイズコーナー

### 【問題】

2頁「追悼く井ノ口泰淳猥下」より、御前さまの在任中、何名の僧侶が法脈相承を受けましたか？数字でお答えください。

○○○名

官製はがきに、答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いてご応募下さい。その中より紙面に採用させて頂くことがあります。掲載時には、はがきにてご連絡差し上げます。名前の掲載が困る方は、その時にご返事下さい。今回は、井ノ口猥下御染筆の色紙を3名さま、龍淵寺さまよりオリジナルタオルを5名さま、本山謹製線香を5名さまに抽選して差し上げます。ご応募お待ちしております。

### 【宛先】 千四四四-二五〇五

愛知県岡崎市本宿町東木竹十六番地  
欣浄寺内 ちかい編集係

【締切】 一月三十一日

(消印有効)

答え ○○○  
郵便番号  
住所  
氏名  
電話番号  
菩提寺(だんな寺)  
感想・質問等

ちかい 第154号

発行日 平成三十年十二月五日  
発行所 浄土宗西山深草派  
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地  
電話 (〇七五) 二二二-〇九五八  
FAX (〇七五) 二二二-二〇一九  
E-mail info@fukakusa.or.jp  
URL http://www.fukakusa.or.jp

何でも

# お寺探偵団



龍淵寺  
りゅうえんじ

Vol.52



## profile

たか はし わ こう  
**高橋和幸師**

(龍淵寺 第38世) 平成2年1月23日生まれ 28歳

愛知県岡崎市の在家に生まれる。15歳のとき、母方の親戚であった龍淵寺住職杉田昭三師から声を掛けて頂き出家。京都西山短期大学卒。平成22年、師匠遷化により龍淵寺住職就任。

今回は京都府京都市西京区にある「紫雲山 龍淵寺」を訪ねました。

淵寺と寺号を交換して以来、所属を浄土宗西山深草派と決着いたしました。

原へ参りました。若く未熟な私を住職へと迎え入れてくださり、そして今尚育ててくださっています。お寺の宝物は檀信徒の方々が守ってきたこの本堂と檀信徒の方々だと考えております。

### Q1 お寺の歴史を教えてください。

天正7年(1580)、洞空文翁上人が現在のところ、草庵を建立したのが始まりです。空号がついておりますので、西山派の僧侶であったと考えられます。天正10年(1582)、明智光秀公より除地を賜り、本堂が完成。元々のお寺の名前は地福院天正寺でした。文久元年(1861)から明治初め頃まで、役所の間違いにより、知恩院末となりましたが、檀信徒の働きと、深草派総本山誓願寺法主音空上人のお計らいにより、長崎県の深草派紫雲山龍

### Q2 お寺の宝物は何ですか？

本書の過去の記事で、名古屋の蓮華寺さまが書かれていたお寺の宝物で「戦災をくぐり抜けた過去帳と、そして何より檀信徒の計り知れない芳志で再建されたこの本堂」というお言葉に大変、感銘を受けました。

龍淵寺に合併された地藏堂に残る御詠歌で、落武者が出家得度して詠んだ歌があります。「ありがたや つちのちぞうのおんめぐみ きゆるいのちも たすけたまひて」(身寄りなく、行く当てもない我が身を助けてくださった、檜原の人々こそが、仏さまからのめぐみ)。この落武者のように、私も身寄りなくこの檜

### Q3 お坊さんとしての心がけは？

私の周りでは仏教は難しいと言われる方が多くいます。私も最初は全くわかりませんでした。法事や葬儀などでご縁があった方へは、「初心を忘れず、わかりやすい法話」を心掛けています。

### Q4 「ちわい」読者に何か頂けませんか？

龍淵寺オリジナルタオルを5名の方に差し上げます。

**【交通】**  
阪急桂駅から徒歩15分  
京都縦貫道大原野ICから車で10分

**【主な行事】**

地藏尊ご縁日法要	毎月23日
修正会	1月1日
春季彼岸会	3月春分の日
延命地藏会	7月23日
盂蘭盆施餓鬼会	8月19日
秋季彼岸会	9月秋分の日
十日十夜会	11月上旬
齋米寄せ	12月第3日曜日

**【お問い合わせ】**  
龍淵寺  
〒615-8172  
京都市西京区檜原宇治井西町6  
TEL 075-392-2488



◀ 地藏堂



◀ 山門



◀ 参道



◀ 本尊